

胃切除の手術を受けられる方へ(腹腔鏡、開腹共通)

入院診療計画書

作成日:

ID		患者様名		病名	☐ 胃癌	☐	特別な栄養管理の必要性	☒ 無	☐ 有	★退院指導★							
看護師		薬剤師		栄養士			症状	☐ 特になし	☐	外来診察担当医・受診日							
理学療法士							手術日		時	()							
日付										年 月 日							
経過	入院日	手術前日	手術当日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目以降	時 分			
目標	不安なく手術を受けることができる			痛みが最小限で安楽に過ごすことができる			術後早期離床できる			食事の注意を理解して経口摂取が進められる			日常生活に戻ることができる				
点滴	ありません		手術前の点滴 (有・無)		持続点滴が始まります 痛み止めの点滴があります				食事量にあわせて点滴を減らします				点滴は終了です		検査内容・予定日		
内服	抗凝固薬・糖尿病薬は 医師の指示にて中止となります 寝る前に下剤をお渡しします		()時に指示のある 薬のみ少量の水で内服 (有・無)		ありません		医師の指示により内服薬が開始となります 指示があるまで服用しないでください				抗凝固薬や血糖降下薬等は 医師の指示にて再開となります				排便が3日以上ない場合や下痢が続く場合は 医師と相談し検討しますのでお知らせ下さい		()
食事	夕食を食べた以降は絶食です OS-1かボカリスエット2本を 飲める範囲で飲んで下さい 糖尿のある方は水で代用します		水分は()時 から中止です		絶飲食		医師の指示のもと 飲水・濃厚流動食が 開始になります		3分粥、5分粥、全粥食と段階的に食事形態が変わります 10時・15時・20時に分割食が出ます				徐々に普通食へ 戻していきます		時 分		
検査	輸血のための採血があります		特にありません			レントゲン 採血が あります	ありません	レントゲン 採血が あります	ありません	レントゲン 採血が あります	必要時、採血、レントゲンの検査があります				退院時のお薬	有・無	
活動	制限はありません		手術までに 術衣へ着替え 血栓予防の 靴下を履きます 靴下は前日に渡します		ベッド上での安静ですが、 体勢の変更は可能です ご希望の際はナースコール でお知らせ下さい		リハビリが始まります 積極的に離床しましょう 最初は看護師が 付き添って歩行します		日常生活を取り戻すため適度な運動、散歩などしましょう 体を動かすこと(離床)により腸閉塞やエコノミー症候群、傷の感染などの予防になります						退院後の生活について		
処置	へその処置をします		指輪・時計・入れ歯 コンタクト・ヘアピン 湿布類は外して下さい 化粧・マニキュアは 落として下さい 長髪は束ねて下さい		心電図モニター・酸素 下肢に深部静脈血栓予防の 機械をつけます (経過をみながら外します)		適宜、体温や血圧測定を行い、傷の観察を行います お腹に管が入ってきた場合は管からの排泄物の性状・量の観察を行います お腹の管は医師により最短で3日目に抜きます								・日常生活上、特に制限 はありません ・食事はゆっくりよくかん で食べましょう		
清潔	手術前日はシャワーに入ります ご自宅でもシャワーか入浴をすませて ご来院下さい		歯磨きをしておいて下さい		うがいは可能です お手伝いします		体を拭きます		お腹の管の挿入中は シャワーに入れません 全身清拭、洗髪を 行います		肺炎予防のため毎日歯磨きをしましょう お腹の管が抜ければシャワー浴が可能です 傷は優しく泡で洗いましょう(初回は看護師が説明します) 毎日洗うことで治りが早くなり、傷からの感染の予防になります		シャワー浴は隔日となります 入浴は傷からの感染を防ぐために 控えるようにして下さい		・定期的に排便があるよう 心がけて下さい ・食事が全くとれない、嘔 吐が続く場合は早めに受 診して下さい		
排泄	制限はありません		トイレをすませて下さい		手術中に尿の管が入ります 翌日、歩行ができれば 抜く予定です		医師の許可が出れば尿の管を抜きます その後に痛みや血尿 尿の出にくさがあればお知らせ下さい		離床してお腹が動き始めることでガスや便が出始めます								
指導	分からないことや不安なことがあれば 遠慮なく看護師にご相談下さい		看護師が手術室に ご案内します ご家族は手術開始予定の 1時間前には病棟に お越し下さい 必ずお1人は手術終了ま で 4階エレベーターホール 待合室で待機をお願いし		痛みは我慢せず お知らせ下さい 点滴の痛み止めがあります ※要望がある際は 遠慮せずにナースコールを 押してください		★胃を切除しているため食事は30分以上かけてゆっくりと食べて下さい★ 短時間でたくさん食事を摂取するとダンピング症候群(吐き気・冷や汗・手の震え)が出現する場合があります ダンピング症候群を予防するために1回の食事量を減らし食事回数を増やします。(中間食が出ます) 食事後は食べたものが逆流しないように30分は座って、体を起こしておきましょう				栄養士より 栄養指導があります (ご家族も同席できます)						
説明	麻酔科医や手術室看護師からの 説明があります 外来で渡された手術や麻酔の同意書に サインをしてご提出して下さい その他の書類もご提出をお願いします		手術開始時間は 予定時間より前後します ご了承下さい 出棟時間が決定次第、 看護師よりお伝えします		麻酔から覚めるまで 数時間かかります		痛みは日ごとに軽減します 痛みが続いたり赤みや腫れが 続く場合はご相談下さい 治療に対して不安がある場合は 相談して下さい		飲水が開始になれば 点滴の痛み止めは終了します 内服薬で痛み止めを用意します		退院前に「胃がん術後の予定について」 のパンフレットをお渡しします 次回外来時に持参して下さい 外来受診時に医師より病理組織結果の 説明があります		午前中の退院となります 清算や次回受診日は 当日午前中に事務員が 病室へ伺い説明します		緊急連絡先 072-469-3111 平日 8:45～17:00 Bブロック 時間外は救急外来		

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。 ※何かある時には遠慮せずにナースコールを押してください※ りんくう総合医療センター 8海病棟 作成：2017.05 改訂：2026.09

説明日： 20 年 月 日 主治医(説明医)： (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。 本人/家族等： 続柄：